

12月定例会 町政を問う 一般質問

Q B級グルメやゆるキャラで活性化を
A いずれも今後計画・検討



安部誠也議員

全国各自治体では「B級グルメ」で地域の活性化に結びつけています。国道54号活性化のアクションプランにも「食の魅力を高める」とあります。本町も、季節の特産品を活かした料理を町民の皆さんに公募し、「B級グルメ」で活性化に結びつける取り組みをすべきです。

また、国や地方自治体ではマスコットキャラクタールである「ゆるキャラ」などを使用して新聞やテレビなどでPRに力を入れています。わが町も「ゆるキャラ」でPRすべき

です。「ゆるキャラ」は動物系もいますが、島根県は神話の国であり、ふるさとに残る古い神話や伝説をキャラクターにしてはどうか。

山崎英樹町長

アクションプラン推進会議で54号を「B級グルメ街道」や「B級グルメフェスタ開催」などのアイデアも出されており、今後しっかりと計画にします。

「いーにゃん」は「ゆるキャラ」の3条件に合うものであり、飯南ブランドの定着に向けて有効な手法であり、来年度の予算を含めて検討します。提案の神話も後世に残す意味でも考えていきます。



町のマスコット「いーにゃん」

Q 今後のまちづくりの目標は
A 生命地域宣言を基本に



安部朋次議員

総合振興計画の基本理念として「小さな田舎からの「生命地域」宣言」を掲げ、豊かな自然を活かしたまち

安心して暮らせるまち住民の参画によって育てるまち…を将来像として、まちづくりが進められてきました。

しかし、国の政策や経済状況、産業の多様化など、政策の変更による事業の見直しなどが行われ、目標が見えないのが現状です。住民にとって住みやすい地域、誇りを持てる町として、いま一度原点に

Q 三瓶山観光は
A 大田市と検討



三瓶山

安部議員

三瓶山について、飯南町総合振興計画や観光パンフレットなどにも何ら記載がありません。町は観光資源をどう考えているのか。

大田市は、石見銀山とともに三瓶山を観光の両輪として新観光計画を平成20年9月にまとめているますが、大田市と連携して三瓶山の観光振興をすることを考えは。

山崎町長

三瓶山を中心にした連携を大田市に持ち掛けましたが、具体的な取組にはなっていないですね。

志津見ダムの完成にあわせ、東三瓶フラワーバレーを含めて大田市と連携を研究、検討します。

もどり検討する考えは。

山崎 英樹町長

総合振興計画の六章からなる基本計画の検証を進め評価し、後期計画の課題として施策の解決に重点的に取り組み、実践

Q 来年度の独自政策は
A 諸課題に取り組む

安部議員

後期基本計画と過疎自立促進計画は今後の事業策定に大きく関わります。前期の残された事業の諸問題を、次年度の予算

にどう組み入れる考えか。また、保育所の民間委託は、委託先の受け入れ準備に人材派遣など、十分な配慮をすべきでは。

第三セクターの経営状況によっては町の財政指標に影響することがあり、

関係整理の考えは。

新年度の予算は町長にとって大事な節目となります。町長独自の政策は。

山崎町長

今、課題になっている保育所の業務委託、第三セクターの公共と営利との整理、里山コミッションのまちづくり会社化、森林セラピーの取り組み等、重要な案件は予算の中で反映させます。

Q トンネルの補修工事は
A 漏水対策と非常通信設備更新など

安部議員

秋から赤名・晴雲トンネルの補修工事が行われています。このうち赤名トンネルは、過去に例のない長期間にわたる大工事が続けられています。

さらに広島県側の布野町横谷では、トンネル付近まで両サイドに歩道新設工事が進められており、町民から要望の強いトンネル新設工事の先延ばしになるのではと危惧する声があります。トンネルの工事内容は。

町民の不安を解消しなければならぬが、最近の要望活動として新設工事を強く要望しているのか。また、町内の歩道未整備区間について、手遅れ

Q 自動車道開通後のバス路線は
A 県を含めた対策協議会設置で



赤名駅

山崎町長

バス事業者は3社ありますが、千円高速になり収益が大きく減少しており、顧客のニーズは短時間で目的地に移動することで、高速道経由は避けられない状況にあります。

時期は未定ですが直行便は全便高速道路経由を考え、出雲便は斐伊川土手の道路状況を考慮すれば、斐川インターチェンジ利用も視野に入れて検討しているのが現状です。

三次市では中心部の交通、経済を中心に考えており、布野町は現在運行しているバス会社に増便を申請しています。掛合町は高速バス停までのアクセスバスを考えているようです。

それぞれの自治体に差があり、県を含めた対策協議会を立ち上げて対応を図ります。

※そのほか国土交通省松江国道事務所頃原維持出張所の存続についての質問がありました。

安部誠也議員
尾道松江線開通後のバス路線の確保について、平成21年9月の質問に対して町長は「今はまだバス会社からの表立った考えは聞いていないが、早めに対策を講じたい」と答弁しました。

その後、バス会社や隣接の自治体では動きがあったと聞いています。現段階の状況と、関係機関にどのような対策を講じているのか。



森林セラピー